

中国については、どうも先入観に色彩  
られた記事、もしくは盛衰の方が多いた  
めか、その真相はなかなか見えがたい  
が、われわれがいままとも必要とする  
のは、中国についての意見や評論より、  
具体的な事実なはいはデータなのだ。  
データといへば、先の十全大会におけ  
る周恩来政治報告には、久々に中国共産

党員の総数を示  
す二千八百万  
の党员といつ表  
現がはじめてま  
れる。  
最近、完訳が出たヤン・ミンデル  
あろ。

# 実事求是

## 人民日報一部を 220人で読む

中 嶋 嶺 雄

# 中国情報

一九五三年におこなわれた初の人口調  
査の結果が翌五四年に公表されたのみ  
で、いかんともしがたが、かりに七億  
五千万といつ、ごくおおざっぱな平均的  
推測値をここで採用する、中国ではほ  
ぼ二十七年に一人の割合で共産党員がい  
ることになる。

次に中国共産党機関紙「人民日報」の  
最大発行部数は、三百四十万部だとい  
う新しい数字がこの巻に伝えられたので、

こちらの方を同様に計算すると、ほぼ一  
百二十人に二部ないしは一部の「人民日  
報」を百千人で読んでいるといつこ  
とになる。「人民日報」以外の全国紙も  
地方紙もあるにはあるが、ほとんど「人  
民日報」の焼き直しであり、部数も少  
ないので、「人民日報」は唯一つのマス  
メディアだといつてよいのだが、中国  
では、そのような新聞でさえ、二百人  
で一人ぐらいにしか手に渡らないので

にも、すべて機関へ申請して通行証を入  
手せねばならない。魂案を考えたととき右  
の報告のデータは決して驚くに値しな  
い。  
以上に例示したような事実だけでも、  
もっとまともな伝えられていたら、たと  
えば、今回の十全大会も明らかにな  
ったように「人民日報」という頭教的  
なメディアにおいては、林彪はこれま  
で「劉少奇のたぐいのペン師」として  
しか呼ばれていなかったのに、実は様  
々な口コミ伝達や内部文獻、つまり、密  
教的メディアによって林彪  
の「反逆」が周知徹底され  
てきた経緯も、リアルに  
想像できるだろう。

いた。肝腎の中国  
の総人口の方は、  
いまから二十年前  
の「中国農村からの報告」（中央公論  
社）は、今日の中国農村の生きた姿を具  
体的なデータに基づいて客観的に伝えた  
数少ない報告として世界の学界でも定評  
があるが、延安近郊の一農村・柳林村を  
例にとつた場合、村民百十八人のなか  
で首都・北京へ行ったところのある者はた  
だの一人（村の党書記長）、省都の西安  
でさえ、行ったことのある者は一人と報  
告されている。

このように、中国民衆の社会的モトリ  
ティーはきわめて乏しいのだ。隣県（県  
は日本の郡程度の大きさが普通）へ行

をはたしたり、紅衛兵運動があつたよ  
うに盛り上がった理由の一半は、日常的な  
情報不足がそれで充足されたからであつ  
た。また生涯、北京などへは行けないの  
が普通の中国農村の青少年たちにとつ  
て、北京への自由な上京が認められた千  
載一遇のチャンスに到来だつたからでも  
あることが理解できる。  
「実事求是」（事実の真相を求める）  
これは中国の古い諺だが、毛沢東愛  
用の言葉でもあり、わが国の中国報道に  
ついて考えてみるべき言葉でもある。

（東京外大助教）